

◎昭和47年度第9回理事会議事録(48.2.27) 出席者：岡本会長，石川，坂野(委任状)，篠原，横道(委任状)の各副会長，下村専務理事，足立(委任状)，荒木，市田，大塚，岡田(委任状)，金子(委任状)，叶(委任状)，後藤，鈴木(委任状)，竹内(委任状)，田辺，長尾(委任状)，難波，林(委任状)，半谷，福岡，細井(委任状)，松本，吉田の各理事，渡辺監事。議事録署名理事の決定：岡本会長，下村専務理事，大塚理事。A. 報告事項：1) 会計報告：下村専務理事から概略説明があり，了承。2) 刊行物頒布報告および3) 各種委員会その他報告，の2件については説明を省略して了承。4) 会務担当理事会報告：下村専務理事から，前回(第8回)理事会において会務担当(経理)理事会で検討することとされた「第10回 IABSE 国際会議準備会立替金100万円」の支出について，去る1月31日に検討が行われた旨の報告があり，続いて市田理事(経理担当)から大要次の報告があった。

○100万円の立替えはやむを得ない。

○無利息とする。

○分割して支出することとし，とりあえずは50万円を，残額は状況により支出する。

○昭和50年度までに返済を願う。

本件については，報告どおり処理することに了承。

5) 日本学士院会員候補者推薦報告：下村専務理事から，前回(第8回)理事会において会長および副会長に人選を一人された「日本学士院会員(補欠)候補者の推薦」について，去る2月6日および同13日の両日にわたり会長・副会長会議を開催して検討された結果，鷹部屋福平君を推薦することに決定した旨の報告があり，続いて岡本会長から経過概要その他について補足説明があり，異議なく了承。6) 土木学会出版物の卸率改訂報告(出版委員会報告)：事務局員が資料を朗読した後，下村専務理事から，出版委員会において卸率改訂(値下げ)はやむを得ないとして決定されたことについて概略説明があり，了承。なお，これに関連して下村専務理事から，今後も一層の販売努力を行なう旨の発言があった。7) その他：①特別会員格付けの格上げ報告：下村専務理事から，社団法人土木工業協会所属会員である当学会特別

会員の格付けの調整(格上げ)および新規入会について，小山内理事(経理担当)の尽力により，前記協会理事会で審議が行われた結果，新年度から実施されることになり，年間概算1000万円の増収になる旨の報告があり，続いて市田理事から補足説明があり，了承。②入会の手引き報告：下村専務理事から，かねて懸案であった新しい「入会の手引き」がこのたびでき上がったことについて披露があり，続いて事務局員が朗読した後，了承。B. 協議事項：1) 土木学会職員就業規則の一部改正について；下村専務理事から，土木学会職員就業規則の一部を改正して職員に支給する住宅手当を増額することについて職員一同から強い要望があるので審議願いたい旨の提案および内容説明があり，また続いて市田理事から，先日開催の会務担当(経理)理事会の席で職員代表の陳情を受けた旨の報告があった後，種々論議された結果，近く会務担当(総務・経理)理事会を開催して検討し，次回(第10回)理事会でさらに審議することに決定。2) その他：①会員入退会について。②次の理事会について。

◎各種委員会

(1) コンクリート標準示方書改訂小委員会第2分科会(48.1.8) 出席者：西沢主査，ほか5名。議事：コンクリート標準示方書の改訂のうち混和材料，水に関する条項の審議。

(2) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会塗装分科会(第20回)および説明会(48.1.8) 出席者：佐藤主査，ほか13名。議事：塗装分科会報告書原案の検討。

(3) 学会誌編集委員会座談会(48.1.8) 出席者：中村幹事長，ほか5名。議事：土木学会誌58巻3月号特集「私と土木との出会い」に掲載する座談会「私のみた土木技術者」を開催，収録した。

(4) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会鋼構造分科会(48.1.9) 出席者：関係者9名。議事：鋼構造に関する検討。

(5) コンクリート標準示方書改訂小委員会第12分科会(48.1.10) 出席者：樋口主査，ほか4名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち吹付コンクリートに関する条項の審議。

(6) コンクリート標準示方書改訂小委員会第16分科会(48.1.10) 出席者：樋口主査，ほか5名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうちプレキャスト

コンクリートに関する条項の審議。

(7) コンクリート標準示方書改訂小委員会第9分科会(48.1.11) 出席者：原口主査，ほか5名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち水中および耐海水コンクリートに関する条項の審議。

(8) 岩盤力学委員会地質調査班第4回編集委員会(48.1.11~12) 出席者：広瀬主査，ほか6名。議事：“地質調査に関する解説書”第1回印刷用原稿の検討。

(9) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会鋼材分科会打合会(48.1.11) 出席者：堀川主査，ほか5名。議事：鋼材に関する検討。

(10) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第1グループ打合会(第13回)(48.1.12) 出席者：関係者13名。議事：今後の研究課題について。

(11) コンクリート標準示方書改訂小委員会第13分科会(48.1.12) 出席者：村田主査，ほか5名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち人工軽量骨材コンクリートに関する条項の審議。

(12) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第2グループ打合会(第9回)(48.1.12) 出席者：久保委員長，ほか20名。議事：1) 大型振動台による基礎の振動実験/東京大学 久保委員長。2) くい模型の破壊実験/東京大学 伯野委員。3) 今後のとりまとめ方法について。

(13) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第3グループ打合会(第8回)(48.1.12) 出席者：久保委員長，ほか16名。議事：課題別研究内容の検討。

(14) コンクリート標準示方書改訂小委員会第4分科会(48.1.16) 出席者：後藤主査，ほか10名。議事：コンクリート標準示方書の改訂のうち鉄筋工，構造細目に関する条項の審議。

(15) 60周年記念事業委員会行事部会(48.1.16) 出席者：長浜部会長，ほか7名。議事：1) 経過報告。2) 部会構成について。3) 創立50周年記念行事企画について。4) 創立60周年記念行事企画について。5) 今後の運営方針。

(16) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会主査幹事会(48.1.17) 出席者：田村，栗林，吉田の各主査，ほか5名。議事：沈埋トンネル耐震設計指針とりまとめのための審議を行なった。

(17) 論文集編集委員会第1小委員会(48.1.17) 出席者：岡内主査，ほか7名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 土木賞候補論文について。5) 主査幹事会報告。

6) その他。

(18) 学会誌編集委員会 (48.1.17) 出席者：中村幹事長，ほか 9 名。議事：1) 経過報告。2) 受付原稿査読。3) 5 月号の編集。4) 次回講座協議。5) その他。

(19) 建設業に関する懇談会幹事会 (48.1.17) 出席者：仁杉幹事長，ほか 8 名。議事：建設工事標準請負契約約款の改正に関する審議経過報告。

(20) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第 15 回幹事会 (48.1.18) 出席者：大久保委員長，ほか 6 名。議事：1) 耐風実験橋について。2) 耐風設計基準について。3) 委員会提出資料について。

(21) 論文集編集委員会第 5 小委員会 (48.1.18) 出席者：岩間主査，ほか 5 名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 土木賞候補論文について。5) 主査幹事会報告。6) その他。

(22) 論文集編集委員会第 3 小委員会 (48.1.19) 出席者：稲田主査，ほか 8 名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 土木賞候補論文について。5) 主査幹事会報告。6) その他。

(23) 論文集編集委員会第 4 小委員会 (48.1.19) 出席者：関係者 4 名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 土木賞候補論文について。5) 主査幹事会報告。6) その他。

(24) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 6 分科会 (48.1.19) 出席者：山崎主査，ほか 7 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち練り混ぜ，打込み，養生，仕上げに関する条項の審議。

(25) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 16 分科会 (48.1.22) 出席者：樋口主査，ほか 5 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうちプレバッドコンクリートに関する条項の審議。

(26) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 12 分科会 (48.1.22) 出席者：樋口主査，ほか 4 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち吹付コンクリートに関する条項の審議。

(27) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究委員会塗装分科会 (第 21 回) (48.1.22) 出席者：佐藤主査，ほか 5 名。議事：塗装分科会報告書の検討。

(28) トンネル工学委員会運営小委員会 (48.1.22) 出席者：住友委員長，ほか 13 名。議事：1) 国際トンネル会議への意見について。2) アメリカトンネル視察団の受け入れについて。3) 全国

大会研究討論会のテーマの選定。4) トンネル協会設立について。5) セイロン大学よりのトンネル関係資料援助の要請について。6) トンネル工学委員会運営について。

(29) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会鋼材分科会 (第 9 回) (48.1.23) 出席者：堀川主査，ほか 13 名。議事：鋼材分科会報告書原案の検討。

(30) 鋼構造委員会鋼材規格小委員会幹事会 (第 1 回) (48.1.23) 出席者：堀川幹事長，ほか 5 名。議事：前回小委員会検討事項の整理ならびに今後の活動内容について。

(31) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 5 分科会 (48.1.23) 出席者：柳田主査，ほか 8 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち配合，管理，試験配合，管理試験に関する条項の審議。

(32) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 15 分科会 (48.1.23) 出席者：永倉主査，ほか 7 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうちダムコンクリートに関する条項の審議。

(33) 岩盤力学委員会第 1 分科会幹事会 (48.1.23) 出席者：関係者 3 名。議事：ダム基礎岩盤のグラウチング施工実例集原稿の編集作業。

(34) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第 13 回委員会 (48.1.24) 出席者：大久保委員長，ほか 12 名。議事：1) 講演「風に関する考え方について」；京大光田 寧氏。2) 耐風実験橋について。3) 耐風設計基準について。4) 昭和 47 年度報告書について。5) 文献紹介。

(35) 行事企画委員会幹事会 (48.1.24) 出席者：森委員長，嶋副委員長，ほか 3 名。議事：下水道技術者に対する研修会について。

(36) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 9 分科会 (48.1.24) 出席者：原口主査，ほか 6 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち水中，耐海水コンクリートに関する条項の審議。

(37) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会解析分科会 (第 11 回) (48.1.24) 出席者：大地主査，ほか 9 名。議事：1) 解析分科会報告書原案の検討。2) その他。

(38) 論文集編集委員会第 2 小委員会 (48.1.24) 出席者：室田主査，ほか 8 名。議事：1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿。4) 土木賞候補論文について。5) 主査幹事会報告。6) その他。

(39) 論文集編集委員会主査幹事会 (48.1.24) 出席者：久野委員長，室田副委員長，岡内，稲田，松本の主査，ほか 2 名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 各小委員会報告。3) 論文報告集第 212 号登載原稿について。4) 土木賞候補論文の推せんについて。5) 査読報告書について。6) 討議の取扱いについて。7) その他。

(40) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 2 分科会 (48.1.25) 出席者：西沢主査，ほか 4 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうちセメント，水，混和材料，大断面の施工に関する条項の審議。

(41) 第 2 回土木計画学研究会委員会 (48.1.25) 出席者：米谷委員長，八十島副委員長，菅原幹事長，ほか 19 名。議事：1) 経過報告。2) 次回のシンポジウム，講習会の件。3) 土木計画学シリーズの編集・発行の件。4) その他。

(42) 文献調査委員会 (48.1.25) 出席者：伊藤委員長，ほか 6 名。議事：1) 会誌 58 巻 3 号，4 号登載抄録について。2) 解説記事について。3) 情報センターよりの依頼について。4) 60 周年記念出版物について。

(43) 土構造物の設計標準に関する研究委員会第 6 回幹事会 (48.1.26) 出席者：関係者 12 名。議事：1) 第 3 編第 2 章 掘削土留工の原案審議。2) 土留擁壁の試設計と標準設計との比較表。3) 基礎の安定に関する安全率の改訂。4) その他。

(44) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会 設計分科会 (48.1.26) 出席者：河野副委員長，猪股主査，ほか 7 名。議事：プレストレストコンクリート設計施工指針に関する条項の逐条審議。

(45) 合成桁鉄道橋の設計標準に関する研究委員会幹事会 (48.1.27) 出席者：関係者 5 名。議事：委員会提出資料のとりまとめ。

(46) コンクリート標準示方書改訂小委員会第 4 分科会 (48.1.27) 出席者：後藤主査，ほか 8 名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち鉄筋工，構造細目に関する条項の審議。

(47) 学会誌・論文集編集委員会打合会 (48.1.27) 出席者：久野論文集委員長，室田論文集副委員長，中村会誌幹事長，長滝論文集幹事，松本編集担当理事，下村専務理事。議事：1) 会誌・論文集委員会の現状報告。2) 査読料について。3) その他。

(48) 出版委員会幹事会(48.1.29) 出席者：山本幹事長，下村専務理事，ほか5名。議事：1) 講座「図説土木工学」監修の件。2) 学会出版図書の卸売手数料の改正について。3) 重版出版物の定価改訂について。4) 日本土木史複製の件。5) その他。

(49) コンクリート標準示方書改訂小委員会第10分科会(48.1.29) 出席者：津野主査，ほか6名。議事：コンクリート標準示方書のうち型わく支保工に関する条項の審議。

(50) 密度流研究小委員会第1分科会(48.1.29) 出席者：岩佐主査，ほか3名。議事：成層密度流の界面安定・不安定について審議。

(51) 衛生工学委員会(48.1.29) 出席者：左合委員長，ほか12名。議事：1) 下水道技術者教育について。2) 全国大会研究討論会について。3) 環境問題小委員会のあり方。4) 研究討論会の反省。5) 委員の交替について。

(52) 環境問題小委員会(48.1.29) 出席者：松本委員長，南部副委員長，ほか8名。議事：各分科会報告。

(53) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会実験橋作業分科会(第18回)(48.1.29~30) 出席者：岡内主査，ほか19名。議事：1) 耐風実験橋について。2) 今後のとりまとめ方針について。3) 野島崎の現地を視察した。

(54) 第4回建設業に関する懇談会(48.1.30) 出席者：岡本会長，佐藤座長，仁杉幹事長，ほか15名。議事：1) 経過報告。2) 中央建設業審議会による建設工事標準請負契約約款の改正に関する審議結果について。3) 土木学会誌への改正経過を寄稿することについて。4) その他。

(55) 鋼構造委員会鋼構造進歩調査小委員会(第3回)(48.1.30) 出席者：小西委員長，ほか5名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 研究テーマに関する原案の検討。

(56) 岩の力学研究連合委員会第2回講演会幹事会(48.1.30) 出席者：山口幹事長，ほか7名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 第2回岩の力学講演会の進行状況について。3) 岩の力学研究連合委員会について。4) ISRMについて。5) 1973年度第1回委員会または1972年度最終委員会の開催について。

(57) 岩盤力学委員会第2回研究会(48.1.30) 出席者：関係者26名。議事：講演—1 ロックボルトの施工実績と考察/国鉄広島新幹線工事局 曲尾理

三郎氏。講演—2 紅葉山線における膨張性土圧の測定について/日本鉄道建設公団計画部 谷 健史氏。

(58) 原子力土木委員会耐震部会(48.1.30) 出席者：岡本部会長，ほか14名。議事：1) 報告書Ⅱ原稿審議。2) 報告書Ⅲ作成方針。3) 「取放水設備の耐震性に関する報告書」原稿審議。4) 「立地と断層の関係」原稿審議。

(59) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会脱水等に関する調査分科会(48.1.31) 出席者：寺島委員長，左合主査，ほか14名。議事：1) 昭和47年度調査報告およびその討議。2) 昭和47年度報告書の作成方針。

(60) 終局強度設計小委員会幹事会(48.1.31) 出席者：関係者7名。議事：1) CEP-FIB のせん断に関する規定について。2) ヨーロッパコンクリート委員会の記号について。

(61) コンクリート標準示方書改訂小委員会第13分科会(48.1.31) 出席者：村田主査，ほか3名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち人工軽量骨材に関する条項の審議。

(62) 海洋構造物に関する調査研究委員会第3分科会(第4回)(48.2.1) 出席者：有田主査，ほか8名。議事：海洋鋼構造物設計指針(案)解説について。

(63) 海洋構造物に関する調査研究委員会第1分科会(48.2.1) 出席者：村上委員長，堀川主査，ほか10名。議事：海洋鋼構造物設計指針(案)解説について。

(64) 昭和47年度土木建造物の取替標準に関する研究委員会(第1回)(48.2.2) 出席者：沼田委員長，ほか45名。議事：1) 委員長あいさつ。2) 昭和47年度研究成果報告；(1) 一般事項分科会，(2) 鋼構造分科会，(3) コンクリート構造分科会，(4) 基礎土構造分科会，(5) トンネル分科会，(6) 斜面およびのり面分科会。3) 質疑応答。

(65) 海外活動委員会幹事会(48.2.21) 出席者：吉越委員長，ほか7名。議事：1) 前回委員会報告。2) Civil Eng. in Japan, 1973年版について。3) その他。

(66) コンクリート標準示方書改訂小委員会第7分科会(48.2.3) 出席者：林主査，ほか4名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち寒中コンクリートに関する条項の審議。

(67) 学会誌編集小委員会(48.2.5) 出席者：中村幹事長，ほか9名。議事：1) 経過報告。2) 学会誌6月号の編集。

3) その他。

(68) 土木学会創立60周年記念事業委員会第1回総務部会(48.2.5) 出席者：尾之内部会長，ほか11名。次第：1) 部会長あいさつ。2) 組織および構成。3) 経過報告。4) 50周年記念事業概要。5) 60周年記念事業所要経費案。6) 今後の作業，運営方針。

(69) 昭和47年度合成桁鉄道橋の設計標準に関する研究委員会(第3回)(48.2.6) 出席者：沼田委員長，ほか23名。議事：1) 鉄道橋用合成桁示方書の改訂について。2) 58キロ鋼用許容応力度について。

(70) 海洋構造物に関する調査研究委員会第2分科会(第4回)(48.2.6) 出席者：吉田主査，ほか5名。議事：海洋鋼構造物設計指針(案)解説について。

(71) 昭和47年度論文賞選考委員会第1回主査幹事会(48.2.6) 出席者：久野副委員長，ほか9名。議事：1) 第1回委員会議事録の確認。2) 推薦(応募)候補論文の資格検討。3) 候補論文専門別仕分けの確認。4) 審査員の決定。5) 審査方法。6) 第2回主査幹事会開催について。

(72) コンクリート標準示方書改訂小委員会第15分科会(48.2.6) 出席者：永倉主査，ほか7名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうちダムコンクリートに関する条項の審議。

(73) 昭和47年度吉田賞選考委員会第1回幹事会(48.2.7) 出席者：水野委員長，国分副委員長，岩間幹事長，ほか4名。議事：1) 第1回委員会議事録の確認。2) 候補の調整。3) 審査担当委員の選定。4) 審査報告書の締切日の決定。5) 第2回委員会開催日の決定。6) 第2回幹事会開催日の決定。

(74) 耐震工学委員会第14回常任委員会(研究会)(48.2.8) 出席者：岡本委員長，久保副委員長，ほか16名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 連絡ならびに協議事項；①IAEEについて，②日本学術会議地震工学研究連絡委員会について，③本州四国連絡橋耐震研究小委員会について，④“地震応答解析と实例(出版物)”について，⑤第13回地震工学研究発表会開催について，⑥英文耐震規定(1973改訂版)について，⑦昭和48年度全国大会研究討論会開催について，⑧その他。3) 研究会；①本州四国連絡橋耐震設計指針(案)について/本州四国連絡橋公団 富岡 紘氏，②題目未定/国鉄鉄道技術研究所 藤原俊郎氏。

(75) 学会誌編集委員会次回講座打合

会(48.2.8) 出席者:関係者5名。議事:1)経過報告。2)次回講座「JIS実用講座」の実施方法を協議。3)その他。

(76) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会主査幹事会(48.2.9) 出席者:田村幹事長,栗林,土田の各主査,ほか5名。議事:沈埋トンネル耐震設計指針第2次案のとりまとめ作業。

(77) コンクリート標準示方書改訂小委員会第6分科会幹事会(48.2.9) 出席者:山崎主査,ほか2名。議事:コンクリート標準示方書改訂のうち練り混ぜ,打込み,養生仕上げに関する条項の審議。

(78) 昭和47年度田中賞選考委員会第1回幹事会(48.2.9) 出席者:阿部幹事長,ほか3名。議事:1)第1回委員会議事録の確認。2)候補の調整。3)審査員の選定。4)審査方法,締切日の決定。5)第2回委員会開催について。

◎その他

(1) 第7回土木計画学シンポジウム(48.1.24~25)

場 所:土木図書館講堂

出席者:一般 170名
委員会 20名
ワーキンググループ 23名
計 213名

議 事:第7回土木計画学シンポジウム「環境問題と土木計画学」盛会のうちに終る

(2) 第9回衛生工学研究討論会(48.1.29~30)

場 所:東北大学工学部共通第2教室
参加者:約200名

演 題:25題

(3) “地震応答解析と実例”講習会(48.2.6~7)

場 所:第一生命ホール

参加者:439名

講演数:15題

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 技術講座と映画の会(48.2.6)

会 場:山形産業会館

講 演:

① 開会のあいさつ
山形県土木部長 石橋金一郎

② 土質工学の基本
東北大学工学部長 河上 房義

③ 法面保護対策
開発工事(株)土木部長 岩淵 丞

映 画:尾道大橋・東名高速道路

(2) 第7回昼食会(48.2.13,支部事務局)

講 演:海中岩石爆破火焰ジェット工法について

飛鳥建設(株)仙台支店長

井上毅久平

議 題:①本部関係人事について

②事務局報告

出席者:多谷支部長,ほか16名。

◎関東支部

(1) 役員会(47.11.27,赤坂プリンスホテル)出席者:水越支部長,ほか5名。

(2) 講習会担当幹事会(47.11.27,土木学会)出席者:藤井幹事長,ほか7名。

(3) 第4回幹事会(48.1.26,東電田町荘)出席者:水越支部長,ほか13名。

(4) 評議員会(48.2.9,土木学会)出席者:水越支部長,ほか14名。

(5) 関東地区役員選考委員会(48.2.20,土木学会)出席者:水越支部長,ほか6名。

(6) 講演と座談会「コンサルタントの現状と課題」(47.12.8,土木学会講堂)講師:宮崎 明,沢本守幸,足立 洪,田原保二,橋本敏男,広田一郎の6氏,司会:滝山 養氏,参加者154名。

(7) 講習会「軟弱地盤の設計と施工の問題点」(48.2.23,土木学会講堂)講師:池田俊雄,奥村樹郎,矢作 枢,持永竜一郎,藤田圭一の5氏,参加者:242名。

(8) 「武蔵野線試乗と見学会」(48.3.16,埼玉県,東京都)行程:南浦和駅集合一試乗と見学一府中本町駅解散。参加者75名。

◎関西支部

(1) 海外事情講演会(48.1.18,好文倶楽部)

題目と講師

1. ウガンダの道路建設事情
大阪府土木部工事管理室主幹 岡 尚平

2. 東南アジアで体験した建設工事
(株)大林組土木部海外工事部長 有田藤雄

3. 欧米の都市交通について
大阪大学教授工学部 工博 毛利正光
参加者:57名

(2) 会員懇親会(48.1.18,好文倶楽部)

参加者:33名(内招待関係10名)

(3) 第2回学生見学会(中国縦貫道,六甲地質・断層見学会)(48.1.29) 見学先:日本道路公団中国縦貫道工事現場および六甲山地質

参加者:23名,参加費:600円

(4) 講習会「施工計画・管理の基礎」

(48.2.13,大阪科学技術センター)

主催:土木学会関西支部

協賛:大阪建設業協会・建設コンサルタンツ協会大阪支部・建設技術資料センター

題目と講師

1. 施工管理技術の基礎
近畿地方建設局企画部技術管理課 成田 久夫

2. 品質管理の考え方と手法
近畿地方建設局近畿技術事務所 島崎 静

3. 宅地造成工事計画の省力化
一電子計算機による自動設計一
三井建設(株)土木技術部技術課 梅園 輝彦

4. 機械系の選定と工程計画のシステム化
一宅地造成工事の運土計画一
京都大学工学部 春名 攻

(代講) (株)鴻池組技術研究所 田坂隆一郎
京都大学大学院 山本 幸司

参加者:252名(会員205名,非会員47名)

参加費:会員1600円,非会員2400円

(5) 初心者のための有限要素法講習会

共 催 日本材料学会および同中部・関西・中国四国各支部

協 賛 土木学会関西支部ほか3学会
第I部 基礎コース(48.1.25~26,京都大学楽友会館)

題目 4題,参加者144名

第II部プログラミングと応用コース(48.2.6~7,京都大学楽友会館)

題目 3題,参加者144名

(6) 第7回幹事会(48.2.7,土木学会関西支部)出席者:柳瀬支部長,後藤幹事長,ほか16名。

(7) 企画・計画担当幹事会(第8回)(48.1.24,土木学会関西支部)出席者:関係者9名。

(8) 支部年次学術講演会長期計画打合せ(48.1.24,土木学会関西支部)出席者:関係者7名。

(9) 出版物編集担当打合せ(第6回)(48.1.17,土木学会関西支部)出席者:関係者10名。

(10) 出版物編集担当打合せ(第7回)(48.1.27,土木学会関西支部)出席者:柳瀬支部長,ほか11名。

(11) 第2回橋りょう下部構造診断委員会(48.1.16,グリル近鉄)出席者:関係者14名。

(12) 役員候補者選考委員会打合せ(48.2.14,土木学会関西支部)出席者:関係者3名。

(13) 昭和48年度第1回見学会打合せ(48.2.7,土木学会関西支部)出席者

：関係者5名。

(14) 事務所運営打合せ(第4回)
(48.1.23, 土木学会関西支部) 出席者:

関係者4名。

(15) 騒音振動委員会委員交替
(旧) 西村昭三委員 国鉄新幹線総合計

画部次長に転出

(新) 深田彰一氏
国鉄大阪工事局次
長に委嘱

編集 後記

■ 上田勝基・記

過日や老境に近い太公望と電車で隣り合った際、その日の成果をいろいろと話してくれました。その後海水の淡水化の話が出て……

「魚の住めない水は浄化しても飲料水とならんのですかね」

「さあ、どうでしょうか。高くつくかも知れませんが、いろいろな処理を行えば駄目ということはないでしょうね」

「そうすると、水道料金の何倍ということになるでしょうね」

「私はそのほうの専門じゃないので詳しくはわからないんですが、1m³ 当り70~100円、またはそれ以上だそうですね。だから数倍という所でしょうね。中近東のクウェートでは、日本のプラントで海水の淡水化がかなり行なわれていると聞いていますが」

……

という内容のものとなりました。

ちょうど本紙の企画が提案された直後のことでもありましたので、一般の人達はこのような身近な問題について海洋の利用を感じていると驚いた次第です。

今回は海洋の開発を土木工学の分野に絞って「海洋工事の近況」として第一線に活躍の方々に執筆して載きました。直接海洋工事に関係のない方々にも、所々に挿入した“豆知識”は興味を持たれることと思っています。

一般に海洋工事を分類する場合種々の方法があると思いますが、工事が行なわれる位置によって「ON LAND」「ON SHORE」「OFF SHORE」に分類されている例があります。前記のような海水の淡水化については、一般的には「ON LAND」と「ON SHORE」が対象となるケースが多いでしょう。

しかし海洋工事では従来の陸上工事と根本的に異なった海洋の特殊性を除外して考えられるものではありませんが、反面、陸上や汀線付近の工事の基本的な考

え方、経験と全く無関係であるとも思われません。したがって、本特集の内容が、逆に陸上工事の設計や施工の中に応用されて良い部分もあると考えます。

現在、わが国の土木工事としては位置的に「OFF SHORE」の例はほとんどないようですが、本四連絡橋やシーパースなどでは、海象・気象などの作業条件が「OFF SHORE」に近いものになることも予想されます。工事を安全で確実なものとするために、土木工学の分野以外からの総合工学として裏付けも必要となるでしょう。

今月は「4月号」と「Annual '73」の2冊が同時発行となったため、編集陣は大変でした。次回発行予定の5月号は、久しぶりに種々のテーマによる一般号をお届けする予定です。きっと、あなたのご専門に関連する記事をみつけられることでしょう。ご期待下さい。

土木学会誌編集委員会委員

委員長	天野光三								
委員	伊藤学	稲見俊明	稲村肇	榎波義幸	大河原満	大野善雄	小川裕章		
	小原忠幸	河合恂二	栢原英郎	北野章	草木陽一	倉方慶夫	古賀英裕		
	松井正憲	谷内勝美	畫阪祐三	中村宏	橋本弘之	福井経一	藤井崇弘		
	松本正敏	峯本守	安昌克	安原明	山田隆二				
北海道支部委員	加来照俊	前川静男		関西支部委員	白石成人	中井博			
東北支部委員	浅田秋江	野池達也		中国四国支部委員	馬場亮介	船越稔			
関東支部委員	中村祐忠	山下生比古		西部支部委員	安部重彦	榑木武			
中部支部委員	宇野尚雄	吉田弥智							
委員兼幹事	中村英夫								
委員兼幹事	今本博健	上田勝基	大沢伸男	小笹太郎	川原睦人	黒川 洸			
	小村 敏	浜田康敬	深井俊英						

TRANSACTIONS OF JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

頒布について

土木学会では、わが国の土木技術・学術の研究内容を広く海外へ紹介する目的で標記の図書を毎年刊行しております。

本書には、土木学会論文報告集掲載論文の内容が図表を用いてわかりやすく記述されておりますので、海外との学術・技術交流の一環として広くご利用下さるようおすすめいたします。現在までに下記の6冊が刊行されておりますのでご案内致します。

Vol. 1, Part 1, Part 2 (1970 年版)

Vol. 2, Part 1, Part 2 (1971 年版)

Vol. 3, Part 1, Part 2 (1972 年版)

体 裁: 本文B5判8ポ2段組 110~200 ページ

定 価: 各冊とも 1500 円(送料 140 円)

申 込 先: 〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会